

第24期 | 中間株主通信

2023年4月1日 > 2023年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第24期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）における営業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

代表取締役社長

卷野 徹



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されたことに伴い、経済活動の正常化による個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復を続けております。一方で、原燃料高騰や円安進行による物価の上昇など引き続き予断を許さない状況となっております。

当社グループの主な事業領域である建設・建材業界では、公共投資の堅調な推移、首都圏の再開発や生産、物流関係などの民間投資の建設需要が増加傾向にあります。一方で、建設資材高騰や慢性的な施工員不足による建設延期や工期遅延が懸念され、動向を注視する必要があります。

工業製品・エンジニアリング事業領域では、船舶、保温・築炉、環境・エネルギーの分野で省エネやカーボンニュートラルといった環境を見据えた設備投資計画が増加しております。

このような環境の下、当社グループは、持続可能な事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し続ける企業への進化を目指し、新たな未来像を描いた長期経営構想「Vision2033」を策定しました。当社グループは、サステナビリティ課題への取り組みと成長戦略を相乗的に推進し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は19,556百万円（前年同期比1.5%増収）、営業利益778百万円（前年同期比45.7%増益）、経常利益864百万円（前年同期比39.4%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,634百万円（前年同期比393.8%増益）となりました。

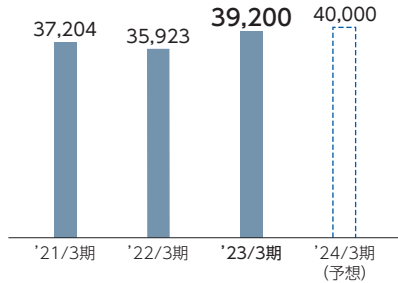
営業の概況は以上のとおりでございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



連結財務ハイライト／通期の見通し

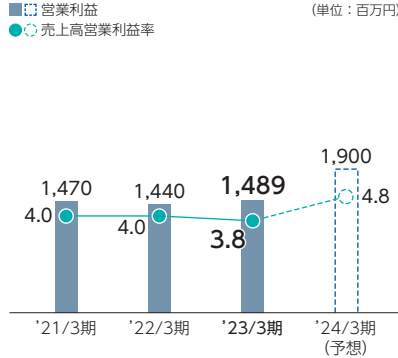
売上高

(単位：百万円)



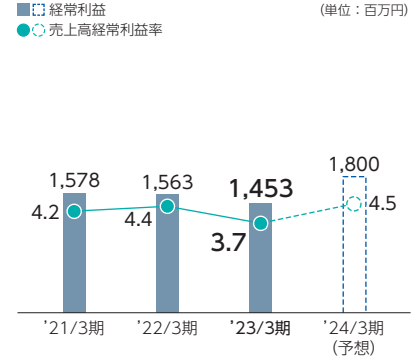
営業利益／売上高営業利益率

(単位：百万円)



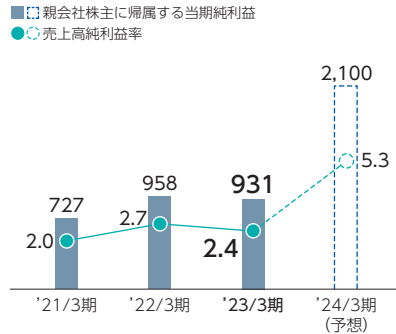
経常利益／売上高経常利益率

(単位：百万円)



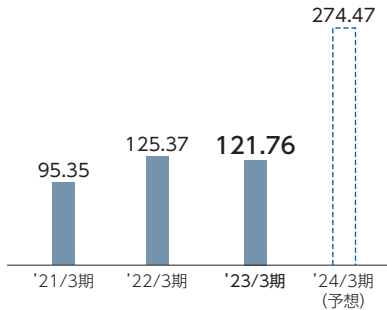
親会社株主に帰属する当期純利益 売上高純利益率

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)



通期の見通し

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	2024年3月期 配当予想
2024年3月期 連結業績予想	400億円 ('23/3期比2.0%増)	19億円 ('23/3期比27.6%増)	18億円 ('23/3期比23.8%増)	21億円 ('23/3期比125.4%増)	1株につき 50円



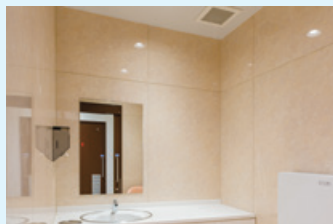
事業概況

建設・建材事業部門



天井 ハイラックフネン

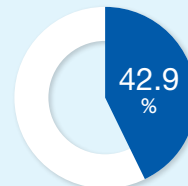
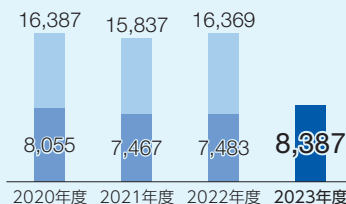
内壁 アデックシャイニー



売上高 **8,387** 百万円 (前年同期比 **12.1** %増)

売上高 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期

売上高構成比



工業製品・エンジニアリング事業部門



マイクロポーラス施工例

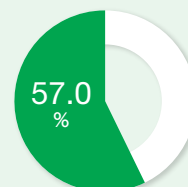
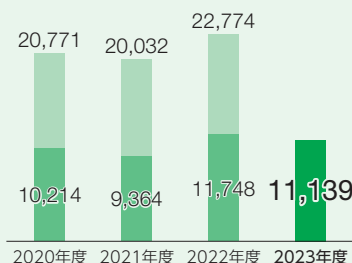
マイクロポーラス系 高性能断熱材



売上高 **11,139** 百万円 (前年同期比 **5.2** %減)

売上高 (百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期

売上高構成比



その他

売上高 **29** 百万円 (前年同期比 **9.7** %増)

材料販売

国内では主力商品であるけい酸カルシウム板「ハイラックフネン」及び高付加価値商品である内装不燃化粧板は、工場・物流施設、商業施設、医療福祉施設等の非住宅市場の回復とともに出荷が堅調に推移いたしました。また、曲面施工が可能なオリジナル商品「エフジーボード」は、首都圏の再開発物件の稼働の活発化により出荷を伸ばしております。海外輸出につきましては、台湾向けけい酸カルシウム板が前期からの繰越物件を含め出荷が順調に推移したことに加え、中国市場においても「エフジーボード」の大口受注が継続しており、海外輸出全体で出荷が好調に推移いたしました。材料販売全体の売上高は増収となりました。

工事

東京・大阪を中心に再開発物件の稼働が継続しているほか、九州地区の半導体施設や中小物件の積極的な工事受注により堅調に推移いたしました。しかしながら、全国的に大型物件の工程遅延が散見されており、工事の完成時期がずれ込むなどの採算性の低下が懸念されます。また、仕入材料の高騰を踏まえ、継続して適正価格による工事受注ができるよう注力してまいります。

材料販売

船舶関連では、自動車運搬船等の建造により防熱材や副資材の出荷が伸長しましたが、急速に進行したユーロ高により防熱材の仕入価格に影響を受けました。プラント関連では、電力会社でのメンテナンス計画の縮小や火力発電事業の予算削減の影響により低調に推移いたしました。環境・エネルギー関連では、新規顧客から海外新設プラント向けAPコネクターを受注したほか、国内ごみ焼却処理施設や大口メンテナンス需要を背景に、APコネクター受注拡大と周辺製品の拡販に取り組み、売上は好調に推移しております。また、保温・築炉関連では、大口工事が少なく厳しい中、高利益商材の拡販と利益率改善に努めました。一方で、世界的なアルミ需要急落の影響を受け、海外向けアルミ溶融設備向け断熱材「レセパルHS」の出荷が減少いたしました。自動車関連では、車載用半導体をはじめ自動車部品の供給制約が緩和されたことで自動車各社の生産活動は正常化しつつありますが、海外向けの受注は各社在庫調整による需要回復の遅れにより出荷は低迷いたしました。また、産業機械分野では、中国景気の減速やサプライチェーンの混乱などのマイナス要因はあったものの、工場自動化（FA）の流れが維持されており、工作機械需要が堅調に推移いたしました。材料販売全体の売上高は増収となりました。

工事

前年度末より顧客からの引き合いは回復傾向にあり、中小物件を積極的に受注いたしました。一方、プラント工事と物流施設外壁断熱パネル工事で大型工事の受注が減少し、前年同期より売上高は低調に推移いたしました。一方で、大型石綿除去工事が完工したことと京浜地区のメンテナンス現場の利益率が改善したことで利益確保に貢献いたしました。重点顧客に対する深耕営業や提案営業による他社との差別化を図り、更なるグループ各社の連携強化のうえ工事受注拡大に努めてまいります。



長期経営構想「Vision2033」策定について

当社は、不確実性の高まる経営環境の中、サステナブルな事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し続ける企業への進化を目指し、エーアンドエーマテリアルグループの新たな未来像を描いた長期経営構想「Vision2033」を策定しました。

Vision2033

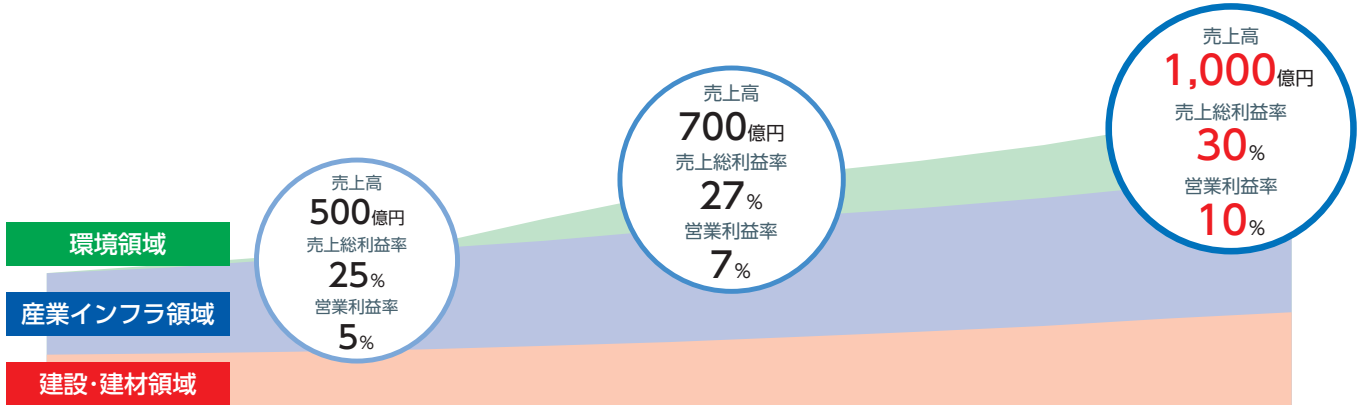


これまで私たちエーアンドエーマテリアルグループは、熱をコントロールする技術で安全・安心・快適な社会づくりに貢献してきました。

次の10年は、新たな事業領域への「挑戦」とグループ力の結集による「成長と変革」で、“心躍る価値”を提供する企業へと生まれ変わり、持続可能な地球の未来を「創造」していきます。

次期中期経営計画（2024年度～2026年度）を1st Stage「挑戦と変革」と位置づけ、10年後のありたい姿からバックキャストイングした実施計画を策定し、実現に向けた取り組みを開始いたします。

ビジョン達成に向けた3ステップ成長戦略



▶ 長期経営構想「Vision2033」の詳細はこちら

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5391/tdnet/2294672/00.pdf#page=2>





会社概要／株式の状況 (2023年9月30日現在)

1. 会社概要

商号	株式会社エーアンドエーマテリアル
住所	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
設立	1924年3月4日 (大正13年)
電話	045-503-5760 (代表)
資本金	38億8千9百万円
従業員数	850名 (連結) 211名 (単体)
主な子会社	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 株式会社アスクテクニカ エーアンドエー工事株式会社 朝日珪酸工業株式会社 株式会社エーアンドエー茨城 株式会社エーアンドエー大阪

2. 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株 (1単元 100株)
発行済株式総数	7,758,576株 (自己株式19,424株を除く。)
株主数	6,175名

3. 役員

取締役及び監査役

代表取締役社長	巻野 徹
取締役副社長執行役員	新川 篤志
取締役常務執行役員	大島 武人
取締役常務執行役員	高原 一登
取締役(社外)	田倉 榮美
取締役(社外)	東海 秀樹

常勤監査役(社外)	毛利 裕
常勤監査役	中村 宏之
監査役(社外)	大園 浩一

執行役員

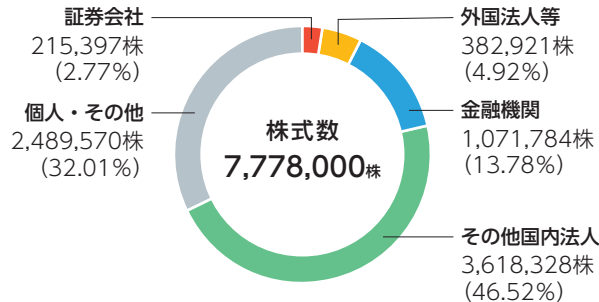
執行役員	工藤 誠司
執行役員	稲田 豊
執行役員	皆広 兆軒
執行役員	國本 正臣
執行役員	市川 智司

4. 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	32,915	42.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,504	3.22
明治安田生命保険相互会社	2,313	2.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,764	2.27
株式会社三井住友銀行	1,528	1.96
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,230	1.58
エーアンドエーマテリアル社員持株会	1,194	1.53
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	981	1.26
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	975	1.25
株式会社不二商会	855	1.10

(注) 持株比率は、自己株式19,424株を控除して計算しております。

5. 所有者別分布状況



株主さま向け アンケート


よりよいIR活動のために 皆さまの声をお聞かせください


当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。（所要時間は5分程度です）


①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

 <https://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード

.....以下の方法でもアンケートにアクセスできます.....

 検索窓から

 kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
 [件名][本文]は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

 スマートフォンから
 カメラ機能でQRコード読み取り→
 QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます ●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ MAIL:info@e-kabunushi.com

株主メモ

事業年度

4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日

3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）

定時株主総会

毎年6月下旬

単元株式数


100株

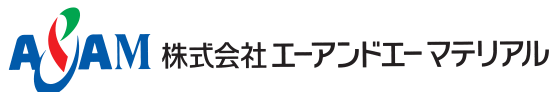
株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社

公告方法

電子公告 (<https://www.aa-material.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9：00～17：00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。



〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号
 電話 045 (503) 5760 (代表)



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

